

中小企業景況情報

2024年 1月～ 3月期実績
2024年 4月～ 6月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況

2024年 1月～ 3月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

[調 査 基 準]

- 1.調査方法 商工会の経営指導員による訪問調査
- 2.調査時点 2024年3月1日
- 3.調査対象期間 2024年1～3月期実績および2024年4～6月期見通し
- 4.回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製造業	30	30	100%	朝日町 入善町
建設業	22	22	100%	上市町 立山舟橋
小売業	40	40	100%	富山市南 富山市八尾山田
サービス業	58	58	100%	富山市北 射水市
合計	150	150	100%	高岡市 小矢部市
				庄川町 南砺市

(注) 本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期と比較して増加（上昇、好転）企業割合と減少（低下、悪化）企業割合の差を示すものである。

産業全体

- ・ 業況判断D.Iは、前期比14.2ポイント悪化し△23.0となった。
来期は5.4ポイント好転の△17.6を予想している。
- ・ 売上額D.Iは、前期比16.0ポイント悪化し△18.0となった。
来期は6.7ポイント好転の△11.3を予想している。
- ・ 採算D.Iは、前期比10.2ポイント悪化し△31.8となった。
来期は2.7ポイント好転の△29.1を予想している。
- ・ 資金繰りD.Iは、前期比16.5ポイント悪化し△19.9となった。
来期は4.1ポイント好転の△15.8を予想している。

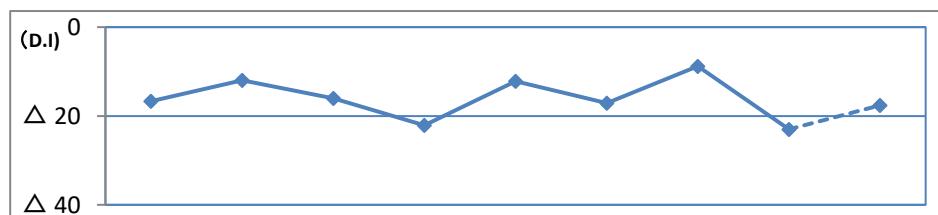
1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、建設業は好転、製造業・小売業・サービス業は悪化]

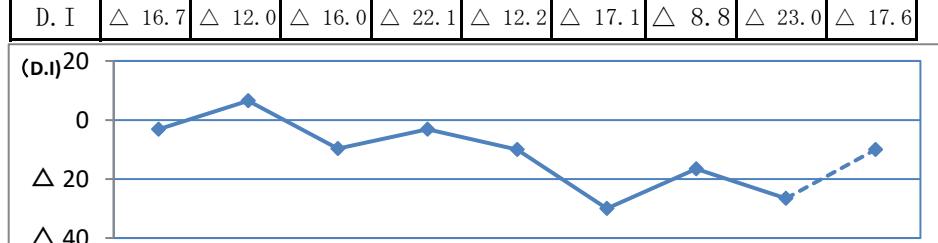
今期は、建設業 0.0 (前期比+18.2ポイント) は好転し、製造業△26.6 (同-10.0ポイント)、小売業△30.0 (同-20.0ポイント)、サービス業△25.0 (同-25.0ポイント) は悪化した。

来期は、製造業△10.0 (当期比+16.6ポイント)、小売業△25.0 (同+5.0ポイント)、サービス業△17.9 (同+7.1ポイント) は好転し、建設業△13.6 (同-13.6ポイント) は悪化を予想している。

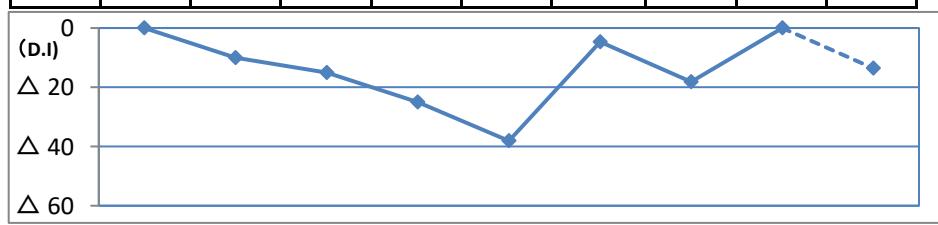
全産業



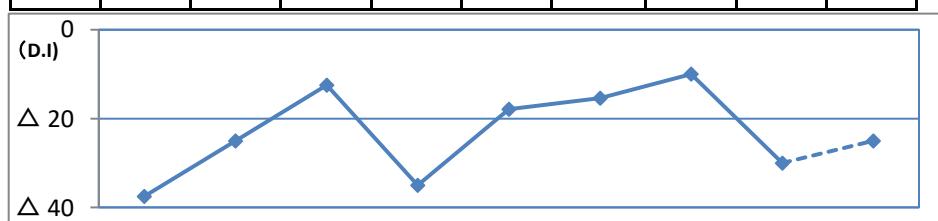
製造業



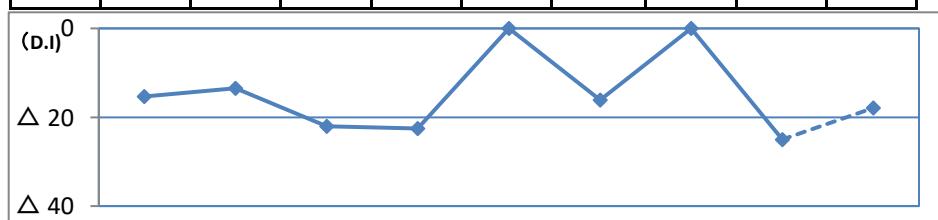
建設業



小売業



サービス業



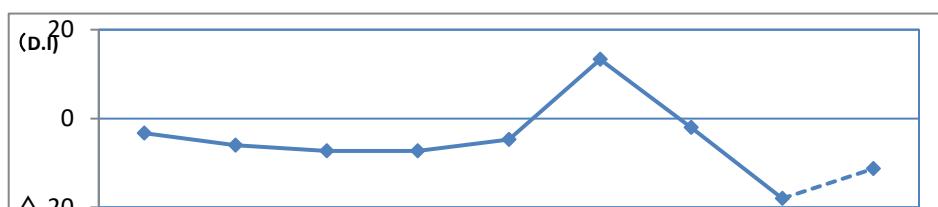
2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、建設業は好転、製造業・小売業・サービス業は悪化]

今期は、建設業△13.6（前期比+9.1ポイント）は好転し、製造業△13.4（同-20.0ポイント）、小売業△35.0（同-20.0ポイント）、サービス業△10.3（同-20.7ポイント）は悪化した。

来期は、製造業+3.3（当期比+16.7ポイント）、小売業△20.0（同+15.0ポイント）は好転し、建設業△13.7（同-0.1ポイント）、サービス業△12.0（同-1.7ポイント）は悪化を予想している。

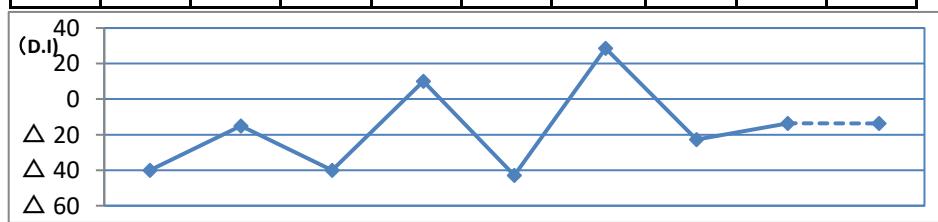
全産業



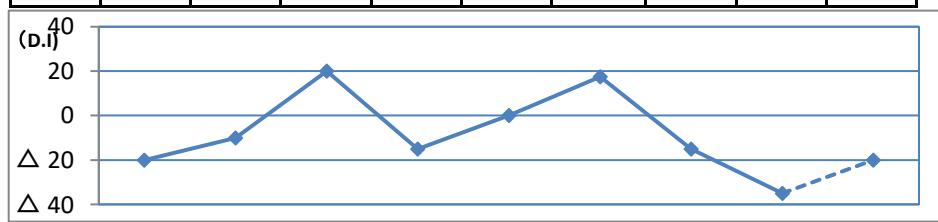
製造業



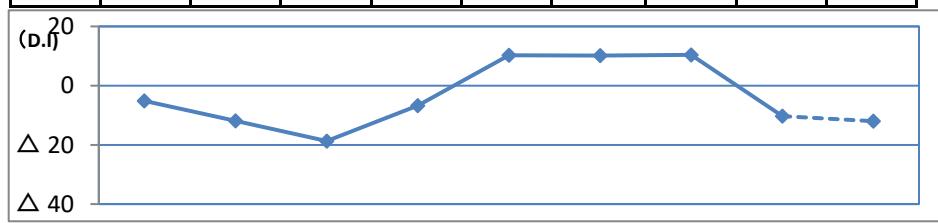
建設業



小売業



サービス業

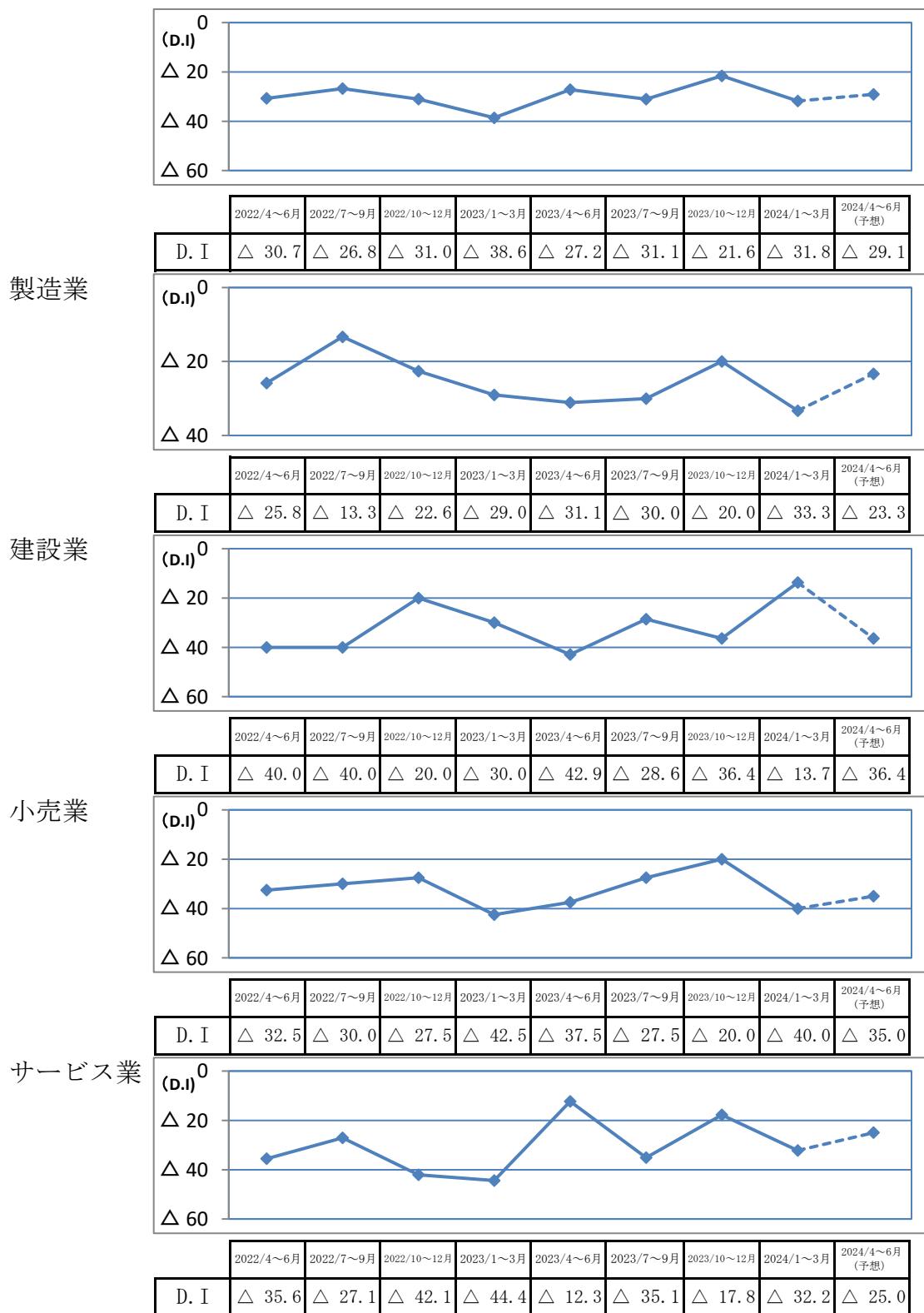


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、建設業は好転、製造業・小売業・サービス業は悪化]

今期は、建設業△13.7（前期比+22.7ポイント）は好転し、製造業△33.3（同-13.3ポイント）、小売業△40.0（同-20.0ポイント）、サービス業△32.2（同-14.4ポイント）は悪化した。

来期は、製造業△23.3（当期比+10.0ポイント）、小売業△35.0（同+5.0ポイント）、サービス業△25.0（同+7.2ポイント）は好転し、建設業△36.4（同-22.7ポイント）は悪化を予想している。



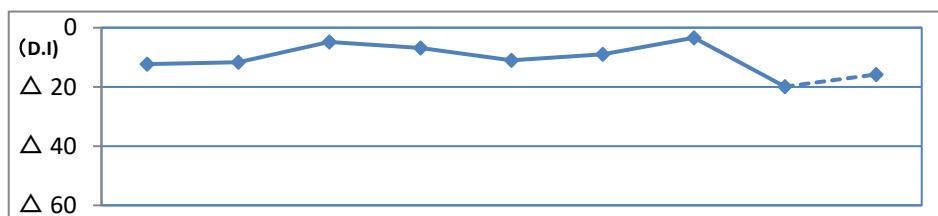
4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

[前期比、建設業は横ばい、製造業・小売業・サービス業は悪化]

今期は、建設業△18.2（前期比±0.0ポイント）は横ばい、製造業△16.7（同-26.7ポイント）、小売業△23.7（同-10.9ポイント）、サービス業△19.7（同-21.5ポイント）は悪化した。

来期は、製造業△16.7（当期比±0.0ポイント）は横ばい、建設業△9.1（同+9.1ポイント）、小売業△21.1（同+2.6ポイント）、サービス業△14.2（同+5.5ポイント）は好転を予想している。

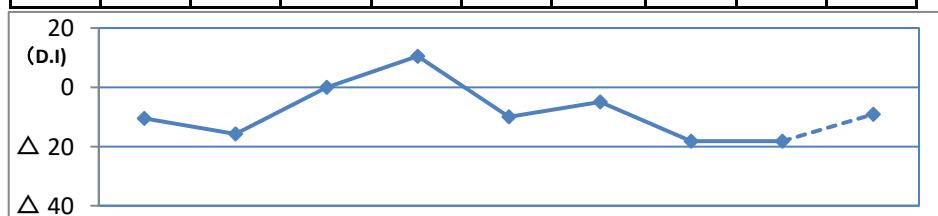
全産業



製造業



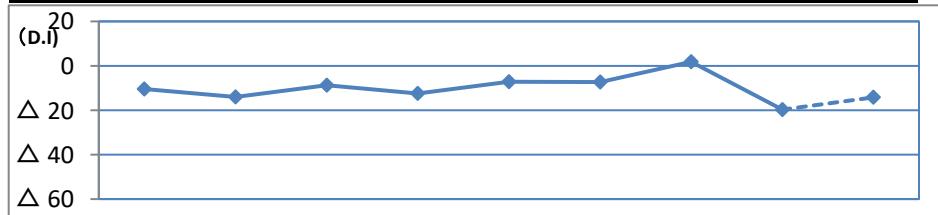
建設業



小売業



サービス業

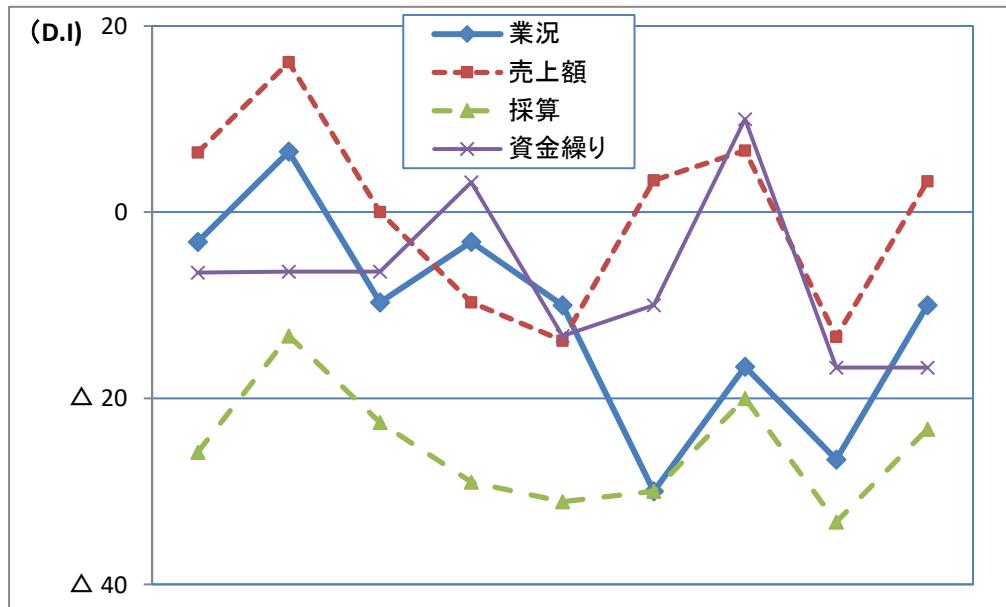


製 造 業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D.Iは△26.6（前期比-10.0ポイント）、売上額D.Iは△13.4（同-20.0ポイント）、採算D.Iは△33.3（同-13.3ポイント）、資金繰りD.Iは△16.7（同-26.7ポイント）であった。来期のD.Iの項目は、業況判断・売上額・採算D.Iの項目は好転、、資金繰りは横ばいを予想している。

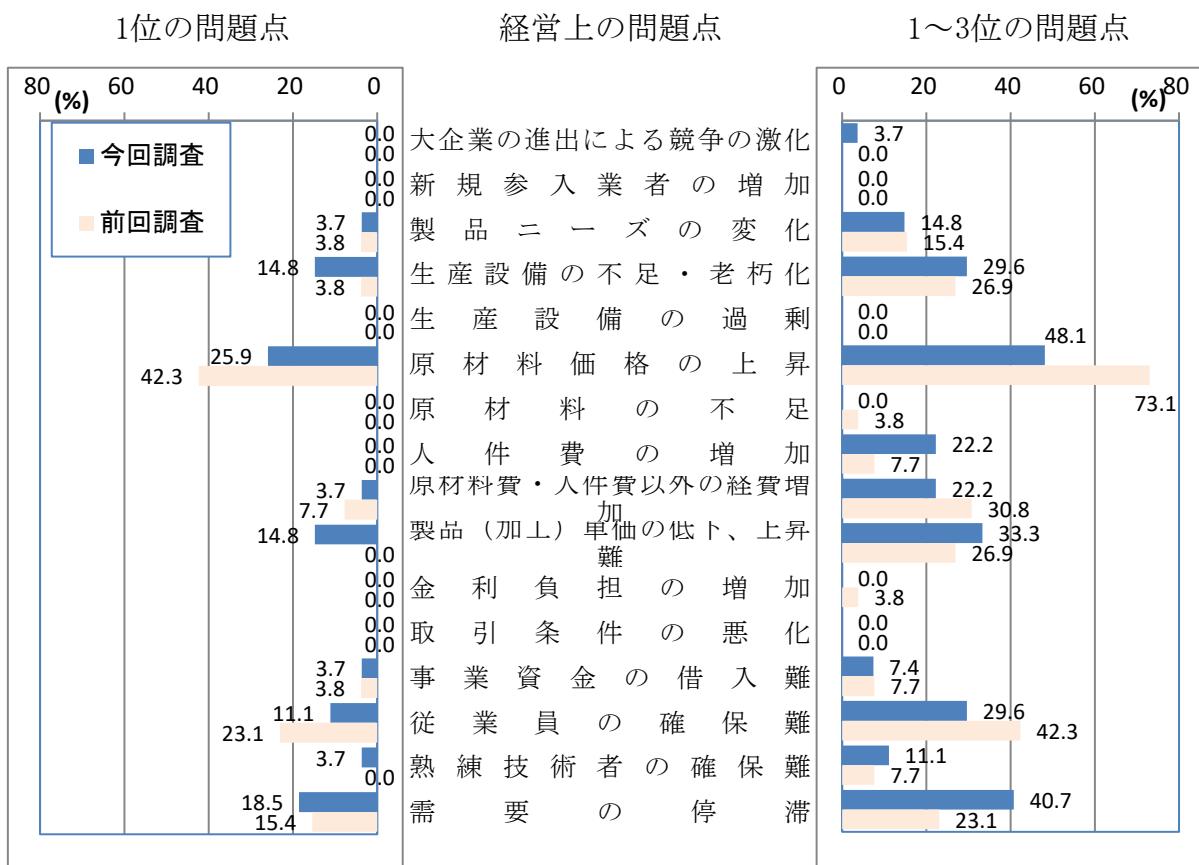
全国との比較では、本期富山県は業況判断・売上額・採算・資金繰りD.Iの項目いずれも下回った。



	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月(予想)
業況	好転	22.6	32.3	22.6	25.8	16.7	6.7	16.7	6.7
	不变	51.6	41.9	45.1	45.2	56.6	56.6	50.0	60.0
	悪化	25.8	25.8	32.3	29.0	26.7	36.7	33.3	16.7
	D.I	△3.2	6.5	△9.7	△3.2	△10.0	△30.0	△16.6	△26.6
	D.I(全国)	△13.2	△17.9	△14.6	△17.1	△11.3	△15.4	△13.3	△10.6
売上額	好転	29.0	48.4	25.8	22.6	27.6	26.7	43.3	33.3
	不变	48.4	19.3	48.4	45.1	31.0	50.0	20.0	56.7
	悪化	22.6	32.3	25.8	32.3	41.4	23.3	36.7	46.7
	D.I	6.4	16.1	0.0	△9.7	△13.8	3.4	6.6	△13.4
	D.I(全国)	△3.2	△4.0	△3.5	△8.7	△1.5	△5.0	△7.4	△8.9
採算	好転	16.1	16.7	16.1	12.9	10.3	3.3	13.3	10.0
	不变	42.0	53.3	45.2	45.2	48.3	63.4	53.4	46.7
	悪化	41.9	30.0	38.7	41.9	41.4	33.3	33.3	43.3
	D.I	△25.8	△13.3	△22.6	△29.0	△31.1	△30.0	△20.0	△33.3
	D.I(全国)	△25.6	△30.4	△28.2	△29.5	△20.3	△21.9	△21.0	△22.0
資金繰り	好転	3.2	6.5	6.5	9.7	0.0	3.3	16.7	10.0
	不变	87.1	80.6	80.6	83.8	86.7	83.4	76.6	63.3
	悪化	9.7	12.9	12.9	6.5	13.3	13.3	6.7	26.7
	D.I	△6.5	△6.4	△6.4	3.2	△13.3	△10.0	10.0	△16.7
	D.I(全国)	△12.9	△15.6	△16.2	△17.1	△11.6	△13.8	△12.3	△13.2

2. 経営上の問題点

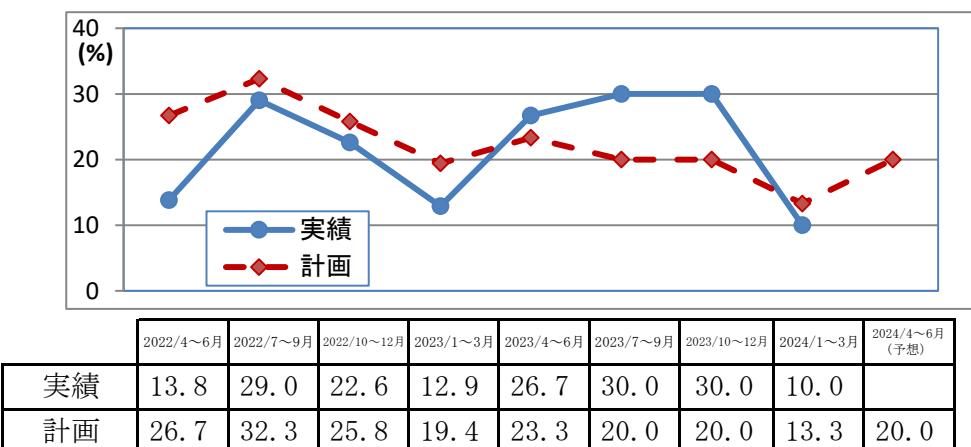
1位の問題点の上位は、①「原材料価格の上昇」(25.9%)、②「需要の停滞」(18.5%)、③「生産設備の不足・老朽化」「製品(加工)単価の低下、上昇難」(14.8%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「原材料価格の上昇」(48.1%)、②「需要の停滞」(40.7%)、③「製品(加工)単価の低下、上昇難」(33.3%)の順となった。「原材料価格の上昇」「需要の停滞」「製品(加工)単価の低下、上昇難」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比20ポイント減少の10.0%となった。投資内容は、工場建物、生産設備、車両・運搬具、OA機器、福利厚生施設となっている。

来期計画は10.0ポイント増加の20.0%となっている。投資内容は、生産設備、車両・運搬具、付帯設備となっている。

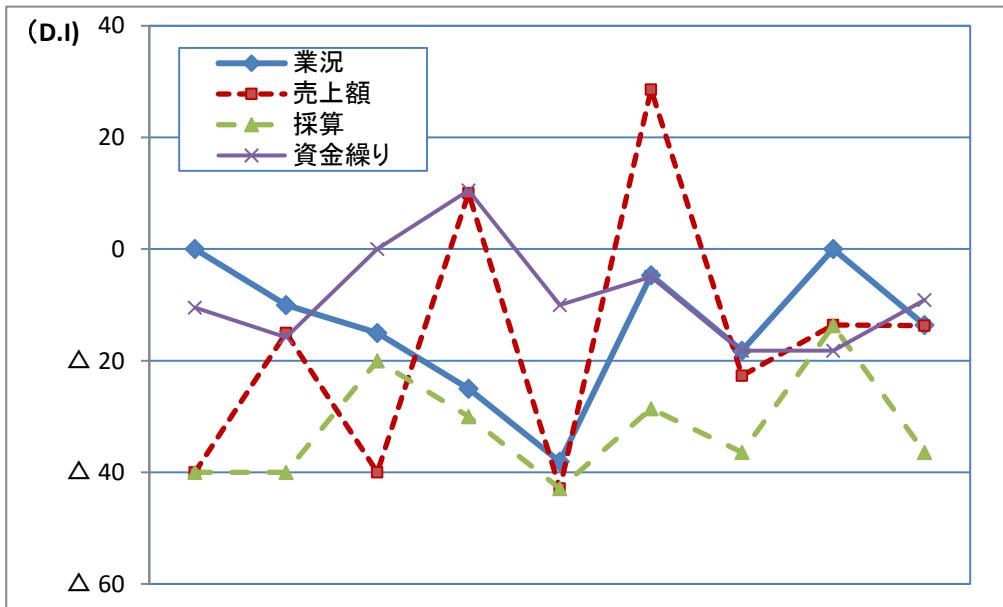


建設業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは0.0（前期比+18.2ポイント）、売上額D. Iは△13.6（同+9.1ポイント）、採算D. Iは△13.7（同+22.7ポイント）、資金繰りD. Iは△18.2（同±0.0ポイント）であった。来期は、資金繰りD. Iの項目で好転、業況判断・売上額・採算D. Iの項目で悪化を予想している。

全国との比較では、本期富山県は、業況判断・売上額・採算D. Iの項目で上回り、資金繰りD. Iの項目で下回った。

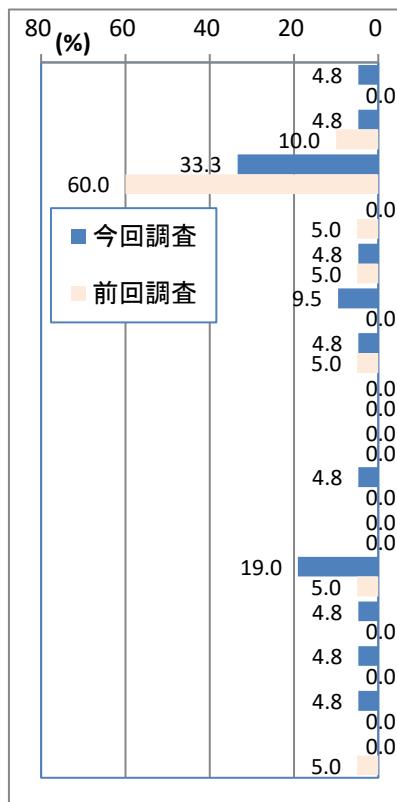


	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月(予想)	
業況	好転	15.0	10.0	15.0	10.0	9.5	14.3	4.5	18.2	0.0
	不变	70.0	70.0	55.0	55.0	42.9	66.7	72.8	63.6	86.4
	悪化	15.0	20.0	30.0	35.0	47.6	19.0	22.7	18.2	13.6
	D. I	0.0	△ 10.0	△ 15.0	△ 25.0	△ 38.1	△ 4.7	△ 18.2	0.0	△ 13.6
	D. I(全国)	△ 22.2	△ 18.3	△ 17.1	△ 20.3	△ 13.7	△ 15.6	△ 12.7	△ 15.9	△ 16.8
売上額	好転	0.0	30.0	25.0	40.0	19.0	52.4	18.2	27.3	13.6
	不变	60.0	25.0	10.0	30.0	19.1	23.8	40.9	31.8	59.1
	悪化	40.0	45.0	65.0	30.0	61.9	23.8	40.9	40.9	27.3
	D. I	△ 40.0	△ 15.0	△ 40.0	10.0	△ 42.9	28.6	△ 22.7	△ 13.6	△ 13.7
	D. I(全国)	△ 19.0	△ 12.7	△ 14.0	△ 15.5	△ 11.6	△ 14.0	△ 14.3	△ 15.9	△ 17.4
採算	好転	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	22.7	4.5
	不变	60.0	60.0	70.0	50.0	57.1	71.4	63.6	40.9	54.6
	悪化	40.0	40.0	25.0	40.0	42.9	28.6	36.4	36.4	40.9
	D. I	△ 40.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 30.0	△ 42.9	△ 28.6	△ 36.4	△ 13.7	△ 36.4
	D. I(全国)	△ 35.9	△ 31.8	△ 32.6	△ 36.1	△ 25.8	△ 26.9	△ 25.3	△ 27.3	△ 23.4
資金繰り	好転	0.0	5.3	0.0	15.8	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不变	89.5	73.6	100.0	78.9	80.0	95.0	81.8	81.8	90.9
	悪化	10.5	21.1	0.0	5.3	15.0	5.0	18.2	18.2	9.1
	D. I	△ 10.5	△ 15.8	0.0	10.5	△ 10.0	△ 5.0	△ 18.2	△ 18.2	△ 9.1
	D. I(全国)	△ 12.6	△ 7.9	△ 10.1	△ 12.8	△ 7.0	△ 11.4	△ 9.4	△ 13.5	△ 14.0

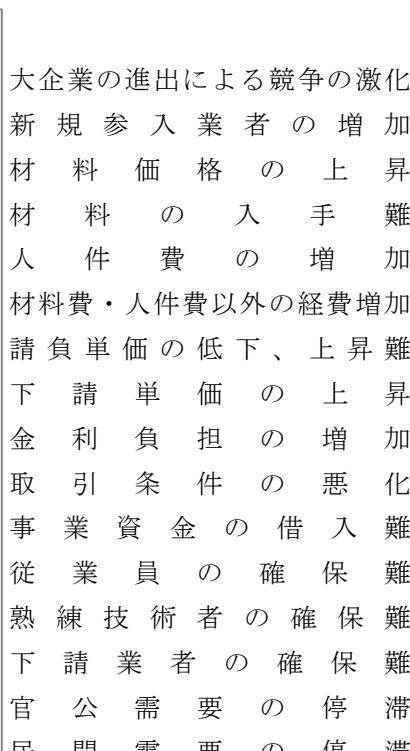
2. 経営上の問題点

1位の問題点の上位は、①「材料価格の上昇」（33.3%）、②「従業員の確保難」（19.0%）、③「材料費・人件費以外の経費増加」（9.5%）であった。これを1~3位までの合計でみると、①「材料価格の上昇」（66.7%）、②「材料費・人件費以外の経費増加」（28.6%）、③「請負単価の低下、上昇難」（23.8%）の順となった。「材料価格の上昇」「従業員の確保難」等が上位に定着している。

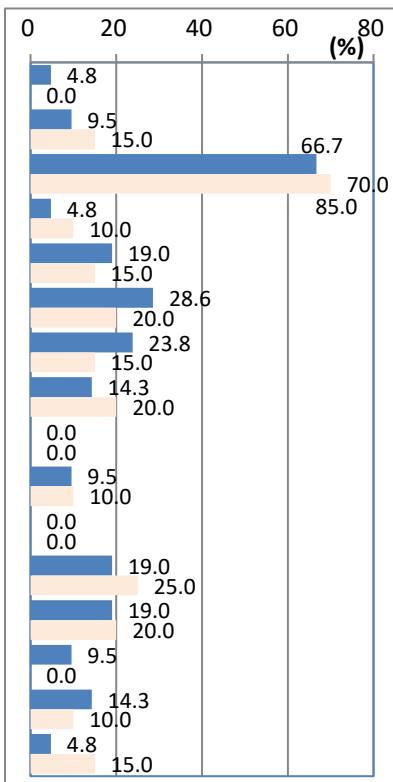
1位の問題点



経営上の問題点

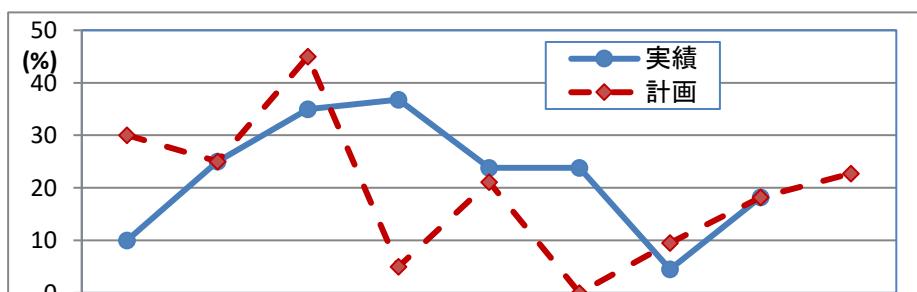


1~3位の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比13.7ポイント増加の18.2%となった。投資内容は、建物、建設機械、OA機器となっている。来期計画は4.5ポイント増加の22.7%となっている。投資内容は、建設機械、車両・運搬具となっている。



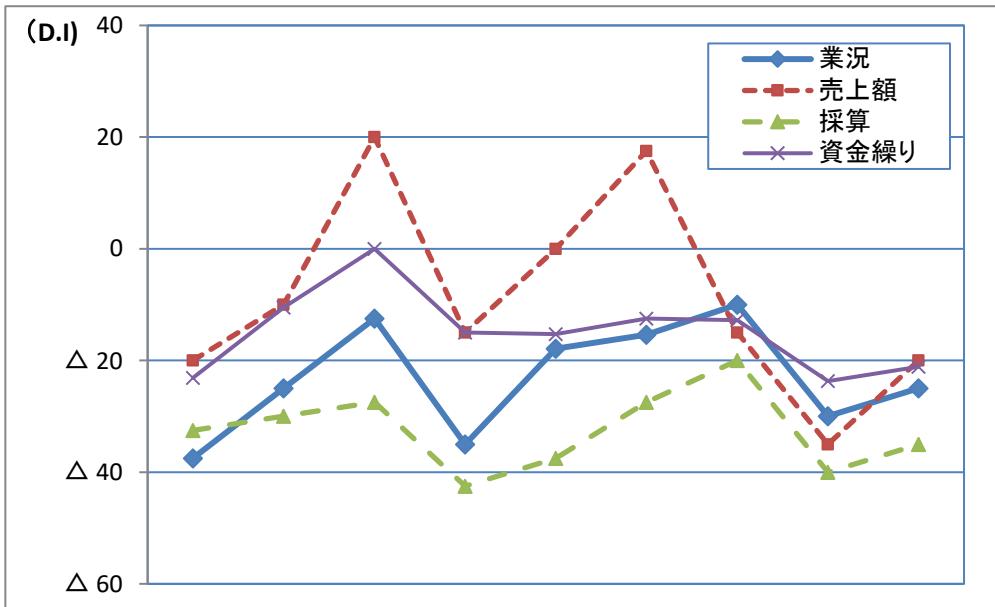
	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月(予想)
実績	10.0	25.0	35.0	36.8	23.8	23.8	4.5	18.2	
計画	30.0	25.0	45.0	5.0	21.1	0.0	9.5	18.2	22.7

小 売 業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは△30.0（前期比-20.0ポイント）、売上額D. Iは△35.0（同-20.0ポイント）、採算D. Iは△40.0（同-20.0ポイント）、資金繰りD. Iは△23.7（同-10.9ポイント）であった。来期は、業況判断・売上額・採算・資金繰りD. Iの項目はいずれも好転を予想している。

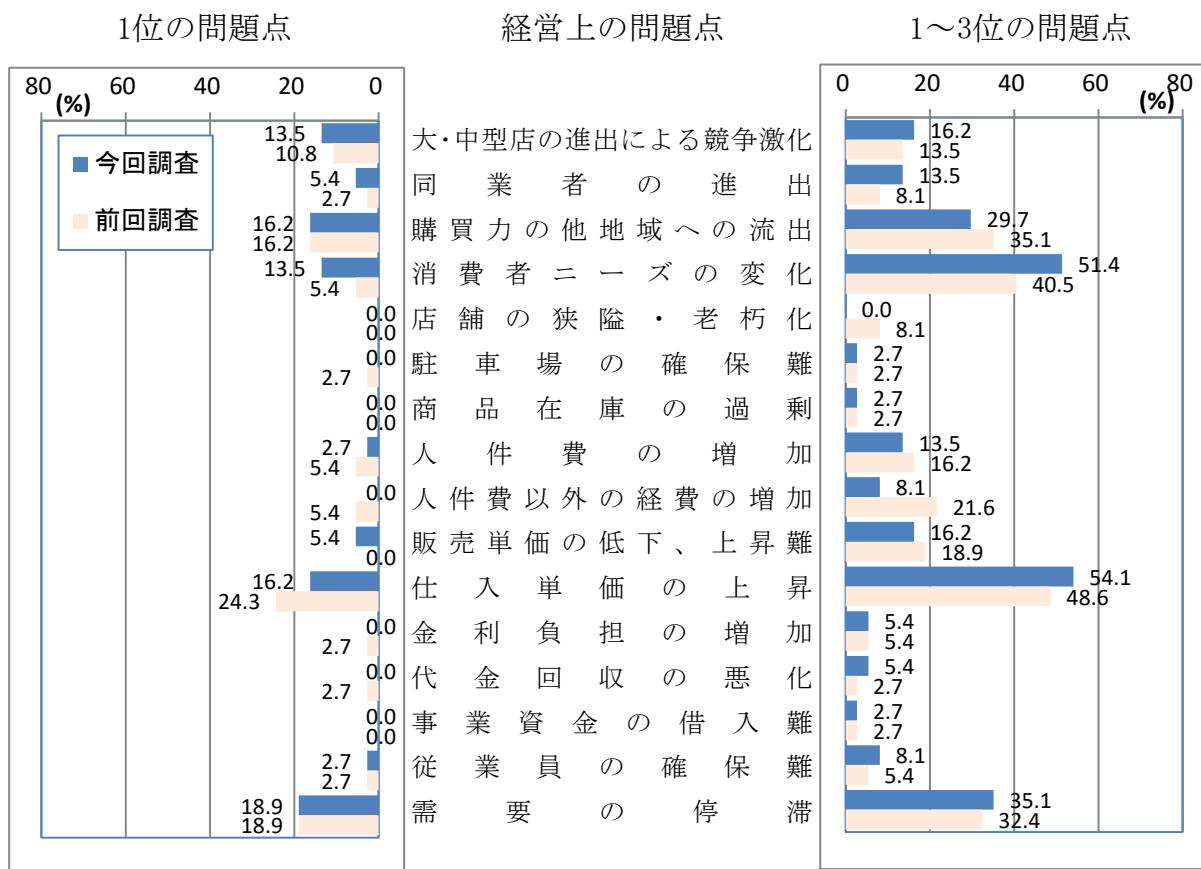
全国との比較では、本期富山県は、業況判断D. Iの項目で上回り、売上額・採算・資金繰りD. Iの項目で下回った。



	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月(予想)	
業況	好転	12.5	7.5	20.0	10.0	7.7	12.8	10.0	5.0	7.5
	不变	37.5	60.0	47.5	45.0	66.7	59.0	70.0	60.0	60.0
	悪化	50.0	32.5	32.5	45.0	25.6	28.2	20.0	35.0	32.5
	D. I	△37.5	△25.0	△12.5	△35.0	△17.9	△15.4	△10.0	△30.0	△25.0
	D. I(全国)	△35.3	△34.5	△31.5	△34.7	△24.4	△29.0	△29.0	△31.0	△26.2
売上額	好転	27.5	27.5	45.0	27.5	30.0	45.0	20.0	20.0	22.5
	不变	25.0	35.0	30.0	30.0	40.0	27.5	45.0	25.0	35.0
	悪化	47.5	37.5	25.0	42.5	30.0	27.5	35.0	55.0	42.5
	D. I	△20.0	△10.0	20.0	△15.0	0.0	17.5	△15.0	△35.0	△20.0
	D. I(全国)	△20.2	△20.9	△18.4	△22.8	△10.5	△12.6	△17.6	△23.2	△23.4
採算	好転	10.0	7.5	10.0	7.5	2.5	7.5	5.0	0.0	5.0
	不变	47.5	55.0	52.5	42.5	57.5	57.5	70.0	60.0	55.0
	悪化	42.5	37.5	37.5	50.0	40.0	35.0	25.0	40.0	40.0
	D. I	△32.5	△30.0	△27.5	△42.5	△37.5	△27.5	△20.0	△40.0	△35.0
	D. I(全国)	△40.0	△38.7	△39.6	△43.7	△32.6	△35.0	△33.8	△34.6	△29.9
資金繰り	好転	7.7	5.3	12.8	5.0	2.6	7.5	5.1	0.0	2.6
	不变	61.5	78.9	74.4	75.0	79.5	72.5	77.0	76.3	73.7
	悪化	30.8	15.8	12.8	20.0	17.9	20.0	17.9	23.7	23.7
	D. I	△23.1	△10.5	0.0	△15.0	△15.3	△12.5	△12.8	△23.7	△21.1
	D. I(全国)	△24.3	△23.3	△23.7	△27.3	△19.5	△21.1	△22.0	△22.7	△21.9

2. 経営上の問題点

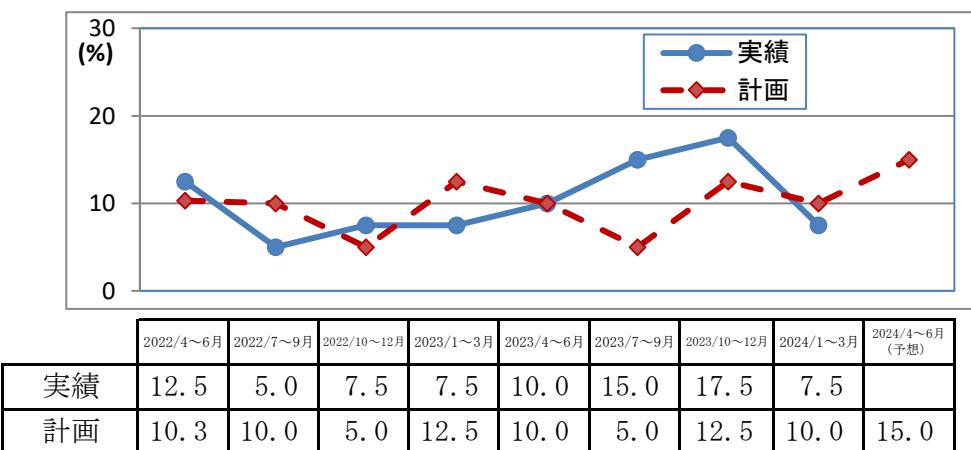
1位の問題点の上位は、①「需要の停滞」(18.9%)、②「仕入単価の上昇」「購買力の他地域への流出」(16.2%)、③「消費者ニーズの変化」「大・中型店の進出による競争激化」(13.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「仕入れ単価の上昇」(54.1%)、②「消費者ニーズの変化」(51.4%)、③「需要の停滞」(35.1%)の順となった。「仕入単価の上昇」「消費者ニーズの変化」「需要の停滞」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比10.0ポイント減少の7.5%となった。投資内容は、販売設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

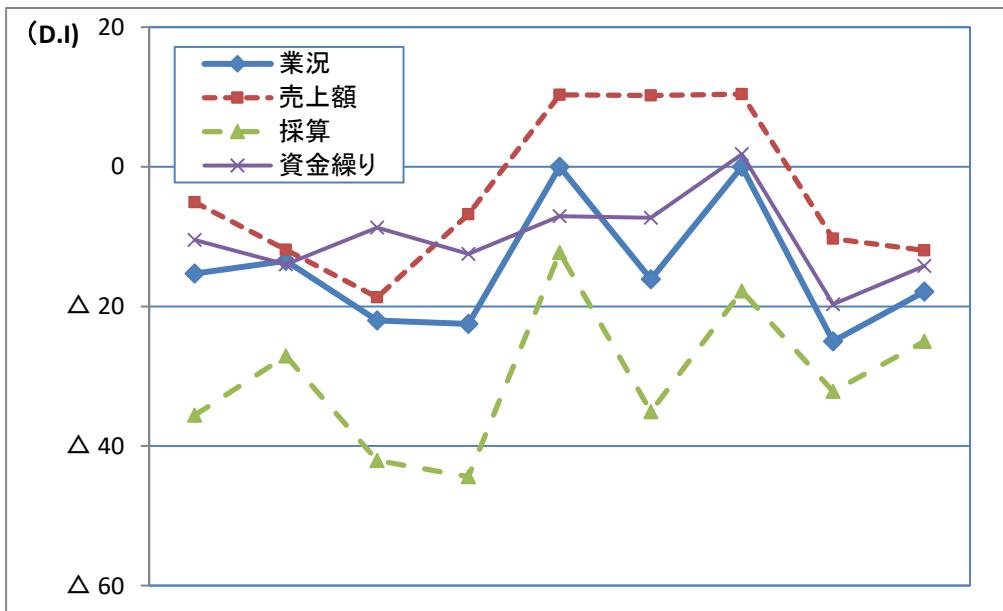
来期計画は7.5ポイント増加の15.0%となっている。投資内容は、土地、店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。



サービス業

1. 主要景況項目の動向

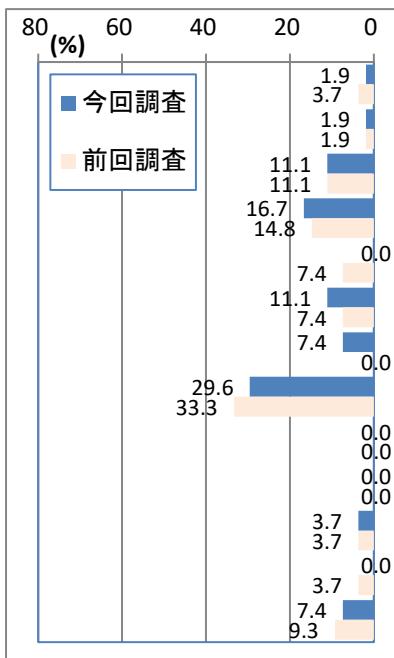
業況判断D.Iは△25.0（前期比-25.0ポイント）、売上額D.Iは10.3（同-20.7ポイント）、採算D.Iは△32.2（同-14.4ポイント）、資金繰りD.Iは△19.7（同-21.5ポイント）であった。来期は、業況判断・採算・資金繰りD.Iの項目は好転、売上額D.Iは悪化を予想している。全国との比較では、本期富山県は、業況判断・売上額・採算・資金繰りD.Iの項目いずれも下回った。



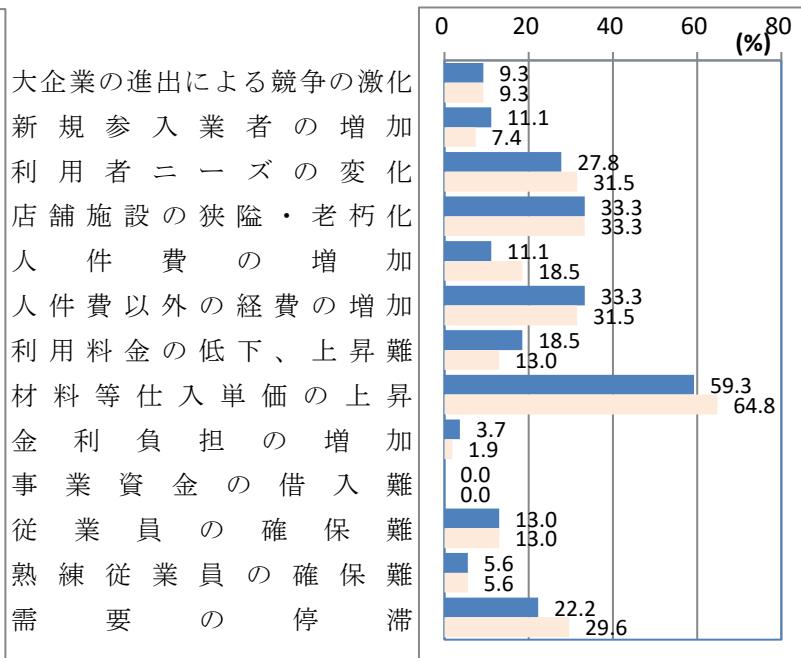
2. 経営上の問題点

1位の問題点の上位は、①「材料等仕入単価の上昇」（29.6%）、②「店舗施設の狭隘・老朽化」（16.7%）、③「利用者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」（11.1%）であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「材料等仕入単価の上昇」（59.3%）②「店舗施設の狭隘・老朽化」「人件費以外の経費の増加」（33.3%）、③「利用者ニーズの変化」（27.8%）の順となつた。「材料等仕入単価の上昇」「店舗施設の狭隘・老朽化」等が上位に定着している。

1位の問題点



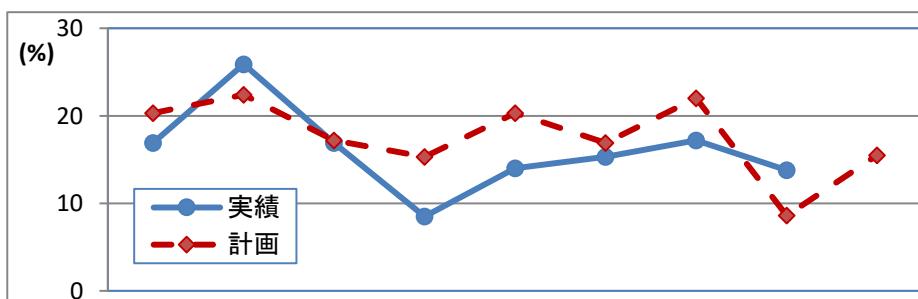
経営上の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比3.4ポイント減少し13.8%となった。
投資内容は、サービス、車両・運搬具、付帯施設となっている。

来期計画は1.7ポイント増加の15.5%となっている。投資内容は、建物、サービス、車両・運搬具、OA機器等となっている。



	2022/4～6月	2022/7～9月	2022/10～12月	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月(予想)
実績	16.9	25.9	16.9	8.5	14.0	15.3	17.2	13.8	
計画	20.3	22.4	17.2	15.3	20.3	16.9	22.0	8.6	15.5